

NWEC



2009年度
国立女性教育会館 概要

Guide to the National Women's Education Center of Japan

独立行政法人
国立女性教育会館

男女共同参画社会実現のための 学びの拠点—ヌエック (NWECC)

独立行政法人国立女性教育会館(ヌエック)は、わが国唯一の女性教育に関するナショナルセンターであり、男女共同参画社会の形成をめざし、女性教育指導者や関係者に対する研修、女性団体・家庭教育支援団体等の交流機会の提供、女性教育・家庭教育に関する専門的な調査研究、女性・家庭・家族に関する情報収集・提供の充実を図る学習の拠点としての役割を果たしております。

平成21年度は、男女共同参画の視点にたった地域づくりをすすめる人材育成を支援する学習プログラムの開発、国立女性教育会館の研修等に参加され、地域で活動をするリーダーの交流の充実・拡大、国内外の機関とのより一層の連携・協力の推進、女性アーカイブセンター事業の充実等、積極的に会館の事業を深め、広げてまいりたいと存じます。

皆様のご利用とご指導、ご協力をお願い申し上げます。

理事長 神田 道子

目 的	3
沿 革	4
事 業	5
平成21年度事業	5
女性教育情報センター	6
刊行物等	8
利用状況	10
トピックス	12
施 設	15
利用案内	18
国立女性教育会館ボランティア	19
運営委員会委員、外部評価委員会委員	20
組織図	21
施設配置	22



シンボルマーク
「両手を空に掲げ、希望に燃える女性像」をデザイン化したものです。

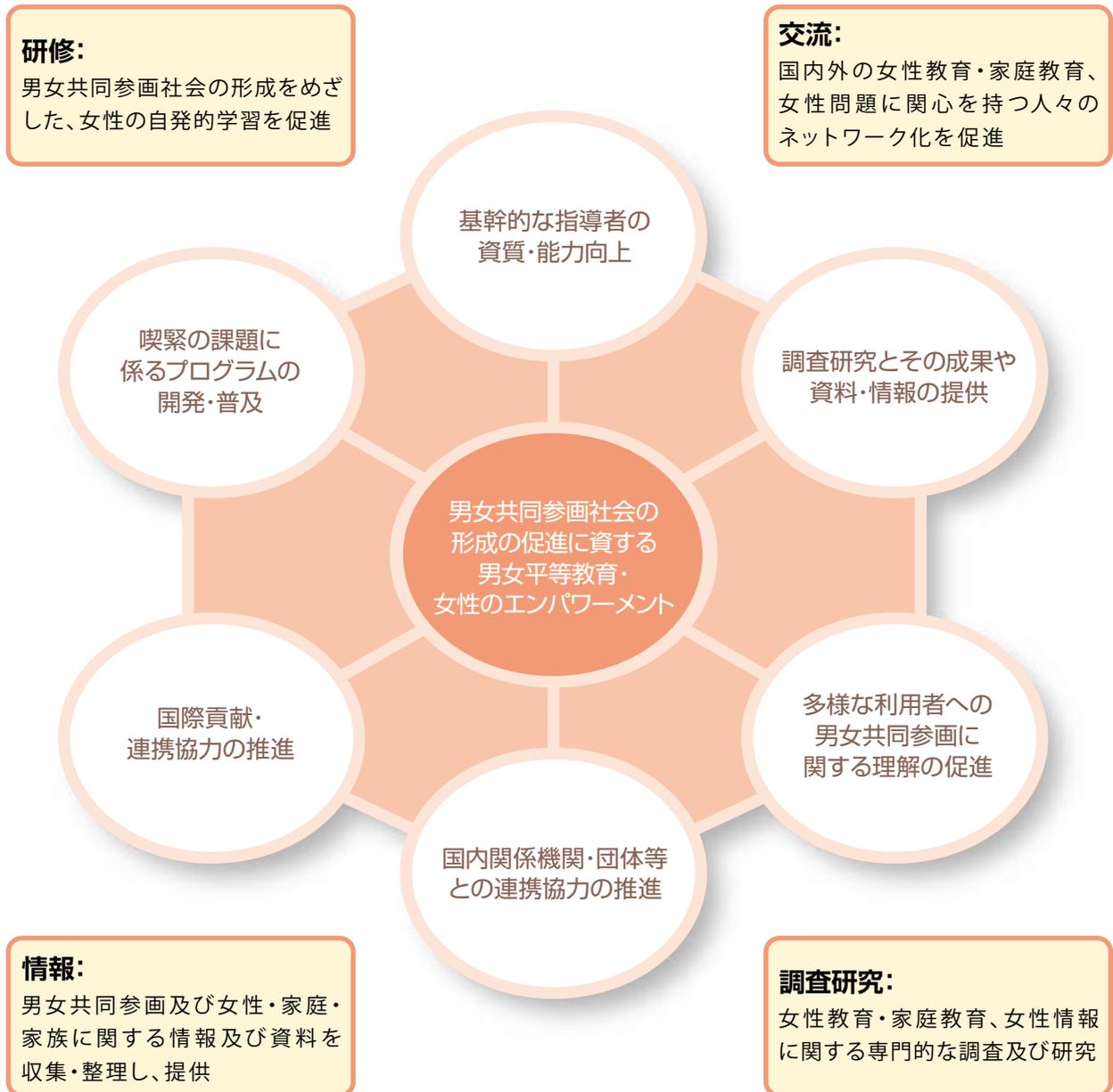
愛称「ヌエック」
「ヌエック」は英語名称 National Women's Education Centerの頭文字
NWECCを読んだものです。



目的

独立行政法人国立女性教育会館は、女性教育指導者その他の女性教育関係者に対する研修、女性教育に関する専門的な調査及び研究等を行うことにより、女性教育の振興を図り、男女共同参画社会の形成に資することを目的としています。

会館は、その目的を達成するために文部科学大臣より示されている中期目標に基き、研修・交流・情報・調査研究の四つの機能を活用して各事業を実施しています。



中期目標(平成18～22年度)



「国立婦人教育会館」から「独立行政法人国立女性教育会館」へ

昭和46年	7月	婦人教育会館調査研究協力者会議発足
昭和52年	7月	文部省の附属機関として国立婦人教育会館が設置される(庶務課(平成14年4月から「総務課」と改称)、事業課)
	10月	受け入れ事業開始
	11月	開館式
	12月	研修事業(全国婦人団体研究集会)開始
昭和53年	3月	「会館だより」(昭和60年8月から「国立婦人教育会館ニュース」、平成9年4月から「スエックニュース」に誌名変更)創刊
	4月	情報交流課設置(平成14年11月から「情報課」に組織変更)
	8月	国立婦人教育会館ボランティア登録開始
	9月	調査研究事業(婦人教育研究セミナー)開始
	12月	体育館・屋内プール完成
昭和54年	3月	日本家屋(響書院)・茶室(和庵)完成
	9月	婦人教育国内研修受け入れ事業開始
	10月	「婦人教育情報」創刊(平成9年3月終刊)
	11月	情報図書室開室(昭和62年11月から「婦人教育情報センター」、平成13年1月から「女性教育情報センター」と改称)
昭和57年	11月	開館5周年記念事業開催
昭和59年	11月	「NWEC Newsletter」創刊
昭和60年	5月	情報協力者会議「婦人教育情報センター基本構想」を報告
昭和62年	5月	利用者100万人を超える
	11月	開館10周年記念事業開催、婦人教育情報センター開所(平成13年1月から女性教育情報センター」と改称)
平成3年	7月	オンライン情報検索サービス開始(平成11年1月からホームページを通してWINETデータベースを公開)
平成5年	4月	事業課に研究員配置、科学研究費補助金取扱規程が規定する「研究機関」となる
平成6年	3月	パソコン通信システム「WINET・BBS」導入
	4月	国立婦人教育会館将来構想検討委員会「国立婦人教育会館の将来について」を報告
平成7年	12月	ホームページをインターネットで公開
平成8年	11月	利用者200万人を超える
平成9年	1月	愛称を「スエック」に決定
	5月	公開シンポジウム開催(以後、毎年開催)
	10月	「国立婦人教育会館研究紀要」創刊(平成18年8月から「国立女性教育会館研究ジャーナル」に誌名変更)
	11月	開館20周年記念事業開催、シンボルマーク決定
平成10年	3月	「WINET情報」創刊(平成14年3月 終刊)
平成11年	1月	ホームページからWINETデータベース、研修室・宿泊室予約状況等を公開
平成12年	3月	スエック女性情報ニューシステム(ウイネットキャス=WinetCASS)公開
平成13年	1月	名称を「国立女性教育会館」と改称
	4月	「独立行政法人国立女性教育会館」設立
	5月	TICT(ティクト, Training of ICT)サイト公開(平成15年度にて終了)
	7月	「独立行政法人国立女性教育会館運営委員会」設置(8月第1回委員会開催)
平成14年	11月	研究国際室設置
平成16年	2月	「女性関連施設相談担当者実務研修」開始
	7月	「キャリア形成支援推進セミナー」開始
平成18年	1月	女子栄養大学と連携協定を締結
	2月	日本女子体育大学と連携協定を締結
	4月	女性情報ポータル“Winet(ウイネット)”公開
	4月	韓国両性平等教育振興院と交流・協力協定を締結
	6月	利用者300万人を超える
	9月	韓国女性開発院と研究交流・協力協定を締結
平成19年	11月	開館30周年記念事業開催
平成20年	6月	女性アーカイブセンター開設
平成21年	3月	フィリピン大学機構と学術協力に関する協定締結
	5月	中国延辺大学と研究交流・協力協定を締結



国立女性教育会館が主催する事業と女性教育、家庭教育等に関する研修・交流・調査研究・情報収集を計画する団体・グループ・個人が自主的に作成したプログラムによる事業があります。

希望により会館利用プログラムについての相談や、女性、家庭・家族に関する最新の情報提供を行っています。



平成21年度事業



国立女性教育会館は女性教育のナショナルセンターとしての役割を果たすため、内外の関係機関・団体等とのネットワークの拡大を図り、ヌエックが真に担うべき事業に重点化し、その成果の普及・活用を図ります。

□ 基幹的な女性教育指導者等の資質・能力の向上

- 地方公共団体等の基幹的指導者に対する男女共同参画及び女性教育を進めていく際に必要な総合的な知識等に関する研修及び調査研究を実施します。また、調査研究の成果を基に、基幹的指導者の資質・能力向上を目的とする学習プログラムや参考資料を作成します。
- ・ 女性関連施設・団体リーダーのための男女共同参画推進研修(6月)
【女性関連施設管理職コース】
【団体リーダーコース】
- ・ 男女共同参画推進拠点としての女性関連施設に関する調査研究
- ・ 男女共同参画センターの現状に関する調査研究

□ 男女共同参画・女性教育・家庭教育に関する喫緊の課題に係る学習プログラム等の開発・普及

- ナショナルセンターとして先駆的に喫緊の課題に関する調査研究を実施し、成果をもとにした学習プログラム・参考資料の開発・普及を図ります。
- ・ 地域活性化に向けた男女共同参画推進に関する調査研究
- ・ 家庭教育・次世代育成支援指導者研修(5月)
- ・ 女性のキャリア形成支援推進研修(10月)
- ・ 男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム〈NWECフォーラム〉(8月)

□ 男女共同参画・女性教育・家庭教育に関する調査研究の成果や資料・情報の提供等

- 全国の女性関連施設等の有する女性教育に関するプログラムなどの地域レベルでは収集困難な広域的・専門的な国内外の資料・情報の収集、提供に重点化を図り、利用しやすいポータルとデータベースの構築を図ります。
- ・ 男女共同参画の推進に向けた統計の活用に関する調査研究
- ・ 女性情報ポータルの整備充実
- ・ 女性アーカイブの構築
- ・ 女性・家庭・家族に関する情報資料の収集・整理・提供
- ・ レファレンス・サービス及び文献複写サービス、図書館間貸出サービス
- ・ 女性・家庭・家族に関する図書資料の展示

□ 女性関連施設等男女共同参画・女性教育・家庭教育に関する国内の関係機関・団体等との連携協力の推進

- ・ 女子中高生夏の学校2009～科学・技術者のたまごたちへ～(8月 科学技術振興機構委託事業)
- ・ 配偶者からの暴力被害者支援セミナー(8月～1月 内閣府委嘱事業)
- ・ NWEC男女共同参画プログラム

□ 男女共同参画及び女性教育に関する国際貢献、連携協力の推進

- 国際協力・連携に資する女性のエンパワーメント支援のために、開発途上国、特に国連アジア太平洋経済社会委員会 (ESCAP) 加盟国の女性教育行政担当者及びNGO等関係団体の指導者に対する男女共同参画及び女性教育に関する参加型の実践的な研修を実施します。
- ・ 国別研修ナイジェリア(5月 国際協力機構委託事業)
- ・ アジア太平洋地域の女性リーダーエンパワーメントセミナー(10月)
- ・ 女性のエンパワーメント国際フォーラム(10月)
- ・ 国別研修タイ(11月～12月 国際協力機構委託事業)
- ・ 女性の教育推進セミナーⅡ(1月～2月 国際協力機構委託事業)
- ・ 人身取引の防止のための教育・啓発と連携方策に関する調査研究



女性教育情報センター



女性教育情報センターは、男女共同参画及び女性・家庭・家族に関する分野の学習・調査・研究に資するため内外の資料・情報を収集・整理し、提供するとともに、各種データベースを作成し、Web上で公開しています。

(<http://www.nwec.jp/jp/center/>)

□ 収集資料(平成21年3月末現在)

項 目		和		洋		計	
		20年度受入	累 計	20年度受入	累 計	20年度受入	累 計
図書資料	図 書	2,399 除籍△ 51	68,296	295 除籍△ 8	20,934	2,694 除籍△ 59	89,230
	地方行政資料	540	24,129	0	8	540	24,137
	計(冊数)	2,939	92,425	295	20,942	3,234	113,367
逐次刊行物	雑誌(タイトル数)	91 △ 23	3,030	30	677(59か国)	121 △ 23	3,707
	新 聞	0	74	0	1	0	75
そ の 他	新聞切り抜き	19,443	261,859	—	—	19,443	261,859
	A V 資料※	122	137	4	7	126	144
	研修貸出用資料※	1	14	0	0	1	14

※ 毎年見直しを実施

□ 情報サービス

閲 覧：女性教育情報センター内で自由に閲覧できます。研究用に閲覧用個室(2室)もあります。

貸 出：会館内貸出及び女性センター・図書館等を通じた館外貸出を行っています。

レファレンスサービス：利用者の学習・調査・研究を援助するために、当センター所蔵の資料や各種データベースを活用してさまざまな質問に答えています。直接来館の他、電話や文書、Eメールでも受け付けています。

文献複写サービス：所蔵資料について、文献複写サービスを行っています。直接来館の他、電話やインターネット・文書による申込みも受け付けています。

□ 女性情報ポータル“Winet”（ウィネット）（<http://winet.nwec.jp>）

女性の現状と課題を伝え、女性の地位向上と男女共同参画社会形成を目指した情報の窓口です。

“Winet”は下記3つの要素で構成されています。

◆女性情報ナビゲーション

リンク集。インターネット上の有用な資源への道案内。

◆国立女性教育会館作成のデータベース（別表参照）

◆女性情報CASS

会館作成のデータベース及び他の関係機関のデータベースの横断検索。

□ 国立女性教育会館作成データベース（件数は平成21年3月現在）

（女性教育情報センター所蔵資料のデータベース） 文献情報データベース	図書 (72,766件)	一般出版社が刊行した図書、中央省庁の調査・報告書、企業の調査資料、女性団体・グループが刊行した資料等について、書名、著者名、発行者、ページ数、「女性情報シソーラス」に基づいたキーワード、分類を主なデータとして登録しています。
	雑誌 (3,707件)	一般出版社が刊行した逐次刊行物、大学・研究所等の紀要類、地方自治体発行の女性広報誌、女性団体・グループが発行したミニコミ、ニューズレター等について、誌名、発行者、所蔵年、所蔵巻号を主なデータとして登録しています。
	地方行政資料 (20,463件)	都道府県・市区町村の教育委員会、男女共同参画担当課(室)など地方自治体が刊行した資料について、書名、著者名、発行者、ページ数、「女性情報シソーラス」に基づいたキーワード、分類を主なデータとして登録しています。
	和雑誌記事 (56,305件)	女性教育情報センター所蔵の逐次刊行物の中から、女性・家族に関する記事・論文を選択し、記事見出し、著者名、雑誌名、巻号、「女性情報シソーラス」に基づいたキーワード等を主なデータとして登録しています。
	新聞記事 インデックス (261,859件)	・昭和52年10月～昭和63年度:全国紙・地方紙約60紙に掲載された、話題となった女性(人材)に関する記事について、記事見出し、記事中の人名、新聞名、日付、キーワードを主なデータとして登録しています。 ・平成元年度以降:全国紙・地方紙約50紙に掲載された女性・家族全般に関する記事について、記事見出し、記事中の人名、新聞名、日付、キーワードを主なデータとして登録しています。
女性関連施設データベース (概要622件/事業14,983件 情報事業347件 相談事業308件)	全国の公私立女性/男女共同参画センター・働く婦人の家・農村婦人の家等女性関連施設の概要、学習・研修事業、情報事業、相談事業について、2001年度以降毎年の調査結果をデータベース化したものです。施設の名称、設置者、住所、設立年、設置目的、事業のねらい、プログラム、講師名、図書室等の面積、情報提供の種類、相談室の数、相談事業・特別相談事業の概要等を主なデータ項目としています。	
女性学・ジェンダー論 関連科目データベース (1,068大学、28,168科目)	大学、短大等の高等教育機関における女性学・ジェンダー論関連科目について、2000年度以降毎年の調査結果をデータベース化したものです。開講大学名、科目名、科目内容、開講場所、担当教員名、一般公開・非公開、対象課程等の学務関係の内容を主なデータ項目としています。	
女性と男性に関する 統計データベース (551件)	女性及び男性の状況を把握する上で重要な日本の統計をあらゆる分野にわたって取り上げ、データベース化したものです。数値を示す統計表をエクセルで収録し、注記や出典となった調査名や資料名も参照できるようになっています。	
男女共同参画人材 情報データベース (738件)	男女共同参画社会推進のための事業企画、また施策の実施に際して参考としていただくため、人材の情報提供を目的としたデータベースです。国立女性教育会館の各種事業にご協力いただいた講師、委員等の方々の情報について、ご承諾を得られた方の、了承いただいた項目のみ公開しています。	

□ 女性情報シソーラス

女性に関する情報を効率よく検索するための用語集で、Winetの各データベースへ組込まれています。五十音順リストとカテゴリー一覧、また用語やカテゴリーから検索できる用語データベースも提供しています。

□ 女性情報レファレンス事例集（183件）

女性関連施設でよくある情報相談（レファレンス）を、Q&Aの形式でまとめた事例集です。男女共同参画に関わる様々な情報をお探しの方、また情報提供に携わるスタッフに役立つ事例を提供しています。

□ 女性のキャリア形成支援サイト

女性が様々な新しい分野へチャレンジし、生涯にわたり、主体的に選択しながらキャリアを形成していくため、多様な事例（ロールモデル）、キャリア形成のための学習支援情報、関連情報を提供しています。

□ 情報研修プログラムの提供

利用者の希望に応じて、資料・情報の検索・利用方法等の実技研修を随時行っています。

□ 展示の実施

所蔵資料の紹介を目的に年4回のテーマ展示を行っています。今年度の展示テーマは次の通りです。

- ・ 4～6月「子育てする父親たち」
- ・ 7～9月「『女子差別撤廃条約』採択から30年」
- ・ 10～12月「貧困と女性・子ども」
- ・ 1～3月「なくそう、デートDV」

□ 女性アーカイブセンター

男女共同参画社会の形成に顕著な業績を残した女性、全国的な女性団体や、女性教育・男女共同参画施策等に関する史・資料を収集しています。

収集・整理した史・資料は、女性デジタルアーカイブシステム（<http://w-archive.nwec.jp/>）を通じて広く一般に公開し、展示、閲覧サービスを行っています。

展示室では、4～9月および1～3月は所蔵資料の展示を行い、10～12月は企画展示「女性科学者の誕生～チャレンジした女性たち～」を予定しています。



刊行物等



資料名		内容	発行
定期刊行物	国立女性教育会館研究ジャーナル	男女共同参画の視点に立った生涯学習に関する国際的、学際的、実践的研究論文を公募して掲載する。会館の調査研究を国内外に発表するとともに公募論文を選考して掲載する。(有料頒布)	年1回
	ヌエックNews	会館の事業及び関連情報の紹介・広報。	年2回
	NWEC Newsletter	NWECの活動及び最新の日本女性の現状について英文で海外に紹介する。	年2回
	国立女性教育会館(ヌエック)主催事業実施報告書	各年度に実施した研修・交流・調査研究・情報事業の実施概要。	年1回
報告書等	女性アーカイブセンター機能に関する調査研究報告－女性の歴史を今に生かし、未来へつなぐ－	女性関係資料の全国所蔵調査を実施し、女性アーカイブに求められる機能と、資料の収集・整理・提供方法を明らかにした。	平成18年度
	夢をかたちにした女性たち 将来のキャリアを考えたいあなたへ	会社員や起業家、理工系研究員など、さまざまな分野で働く20代～40代の女性15名へのインタビューをまとめたロールモデル集。女性のキャリア形成・キャリア教育の教材として作成。(ヌエック・ブックレット5)(有料頒布)	平成18年度
	人身取引とその防止・教育・啓発に関する調査研究(資料編1)	日本国内の人身取引に対する「需要」のありようとそれを下支えする社会意識について、平成18年度に行った国内大規模質問紙調査のデータ結果をまとめた資料。	平成18年度
	独立行政法人国立女性教育会館・韓国両性平等振興院交流・協力協定締結記念シンポジウム報告書について	平成18年度に韓国両性平等振興院と交流・協力協定を締結した記念に行われたシンポジウムの抄録。韓国や日本で行われている男女共同参画に関する研修についての情報やリーダー像についてのパネルディスカッションを含む。	平成18年度
	指定管理者制度導入施設についての調査結果分析	「平成18年度女性関連施設に関する調査研究」として、指定管理者制度の導入状況について現況を把握するために質問紙調査およびインタビュー調査を行い、その結果を分析した。	平成18年度
	アジア太平洋地域の人身取引問題と日本の国際貢献 －女性のエンパワメントの視点から－	平成17～18年度の科学研究費補助金(基盤研究B)研究成果報告書。地球規模の課題である人身取引の問題について、女性のエンパワメントの視点から学際的的研究者でまとめた。	平成19年度
	家庭教育・次世代育成支援のためのプログラムに関する調査研究参考資料	子育て支援におけるアウトリーチの取り組みを地域において進めていくにあたって欠かせない地域人材の育成・活用としくみづくりについて、取り組み事例や課題解決に向けた方策等を実践に役立つ基礎資料としてまとめた。	平成19年度
	女性の理工系進路選択支援に関する調査研究普及啓発資料	社会教育施設において女子高生の理工系進路選択支援に取り組む意義や、事業を効果的に展開するための具体的な方法、プログラムの展開例等を検討し、資料としてまとめた。	平成19年度
	女性のNPO活動の現状と課題 －キャリア支援から地域づくりへ－	平成18～19年度「女性のキャリア形成のためのプログラムに関する調査研究」の成果報告書。女性が代表をつとめるNPO法人への質問紙調査の結果をもとに、必要なプログラムのあり方を検討した。	平成19年度
	「人身取引の多面的防止・教育・啓発に関する調査研究」普及啓発資料	一般市民、学生等に人身取引の問題について理解してもらうためのわかりやすい啓発資料として「人身取引問題について知る」を作成した。	平成19年度
	女性関連施設における事業評価に関する調査報告書	「平成19年度女性関連施設に関する調査研究」として、女性関連施設における事業評価の実態についての質問紙調査を行い、その結果をまとめた。	平成19年度
	「地域活性化に向けた男女共同参画推進に関する調査研究」基礎資料(中間報告)	平成20～21年度「地域活性化に向けた男女共同参画推進に関する調査研究」の一環として行った男性の次世代育成支援活動への参画とその促進に関するインタビュー調査をもとに、学習と活動の循環と男女共同参画の視点から取り組み事例をまとめた。	平成20年度
	「人身取引の多面的防止・教育・啓発に関する調査研究」報告書	平成19～20年度に実施した「人身取引の多面的防止・教育・啓発に関する調査研究」の概要と成果をまとめた。	平成20年度
	連携・協働を推進しつつ、地域づくりに参画する人材が育つために	「平成20年度女性関連施設に関する調査研究」として、これまでの2年間の調査結果に基づき、女性関連施設職員、行政職員等に向けて、「実践・活動に結びつく」学習のプログラムを開発し、その開発の過程を、報告書にまとめた。	平成20年度
	時代を拓く女性リーダー	開館30周年を記念して行われた女性の人材育成支援に関する国際シンポジウム・専門家会議に参加した女性リーダーの報告、発言、討議等をまとめた。(有料頒布)	平成20年度
男女共同参画統計データブック －日本の女性と男性－2009	社会全体の中の女性と男性の状況を把握するためのデータ集。人口、家族と世帯、労働、教育など12分野にわたる。「男女共同参画統計データブック 2003～2006」で好評を得た附属資料など、内容の充実をはかった改訂版。(有料頒布)	平成20年度	

※ 定期刊行物等の閲覧について／定期刊行物である国立女性教育会館研究ジャーナル、ヌエックNews、NWEC Newsletterは、NWECのホームページ(URL:<http://www.nwec.jp/>)でどなたでも閲覧できます。報告書等については、国立女性教育会館までお問い合わせください。

利用状況

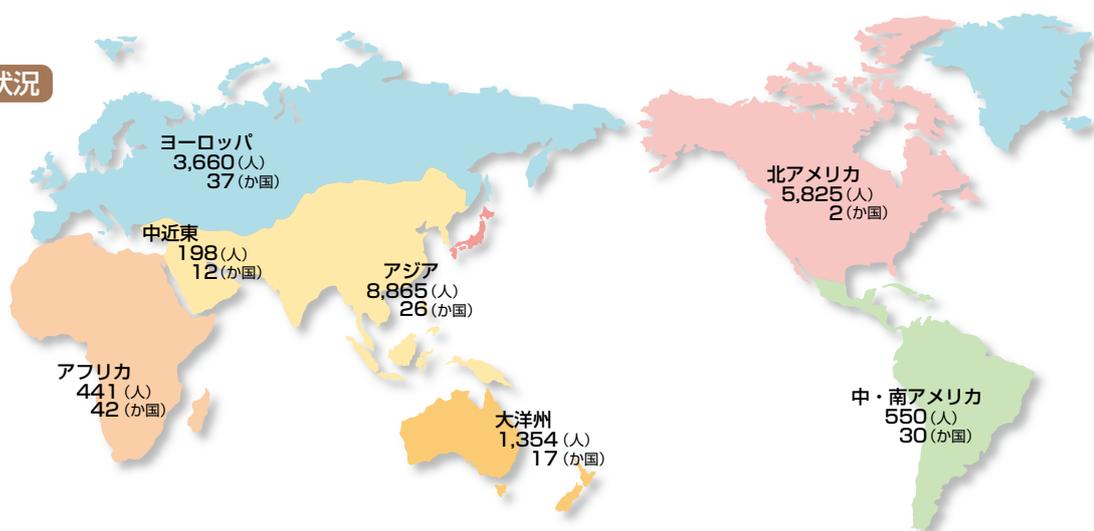
年度別利用状況(昭和52年度～平成20年度)

年 度	平成 18 年度			平成 19 年度			平成 20 年度			累計 (昭和 52 年～)		
	宿泊利用	日帰り利用	小計	宿泊利用	日帰り利用	小計	宿泊利用	日帰り利用	小計	宿泊利用	日帰り利用	小計
利用団体数	1,161	2,191	3,352	1,138	2,451	3,589	1,140	2,665	3,805	32,708	31,133	63,841
実利用者数 (人)	37,540	67,516	105,056	36,334	73,602	109,936	37,325	85,137	122,462	1,152,838	935,999	2,088,837
延利用者数 (人)	76,161	67,516	143,677	78,492	73,602	152,094	78,272	85,137	163,409	2,492,693	935,999	3,428,692
1日当たりの利用者数 (人)	227	202	429	232	218	450	232	252	484	239	90	329
開館日数 (日)			335			338			338			10,415

外国人の利用状況

国際会議、国際交流、見学等を目的とする外国人の利用状況は、開館以来平成21年3月末で、166か国から、20,893人となっています。

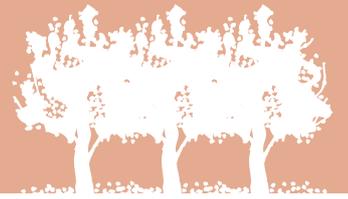
地域別来館状況



女性教育情報センター利用状況(昭和54年度～平成20年度)

事項	年度	昭和 54 ～平成 19 年度	平成 20 年度	累 計
資料等利用者総数 (人)		15,328	8,938	24,266
貸出数	図書 (冊)	57,440	1,846	59,286
	雑誌 (冊)	27,512	588	28,100
	研修用貸出資料 (冊)	37,249	1,932	39,181
レファレンスサービス (件数)		32,317	1,222	33,539
文献複写サービス (件数)		9,732	2,431	12,163
館外貸出サービス (件数)		1,537	328	1,865
情報研修プログラム (件数)		342	6	348
情報研修プログラム (人数)		8,263	60	8,323
開室日数 (日)		9,318	338	9,656

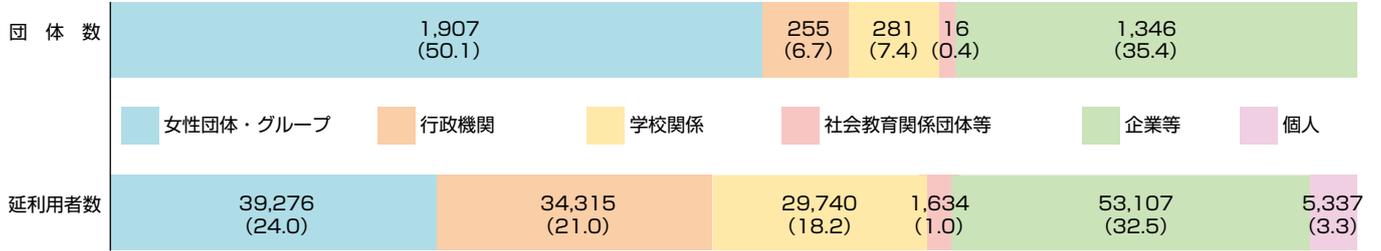
※資料等利用者総数は、平成18年度より集計
レファレンスサービス……昭和56年度開始
文献複写サービス……昭和56年度開始
館外貸出サービス(機関のみ)……平成4年度開始



□ 利用内訳(平成20年度)

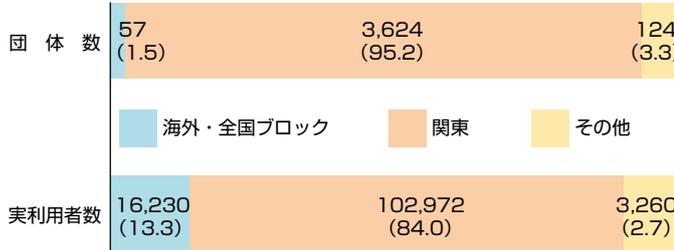
主催者別

単位：上段/実数(人) 下段/割合(%)



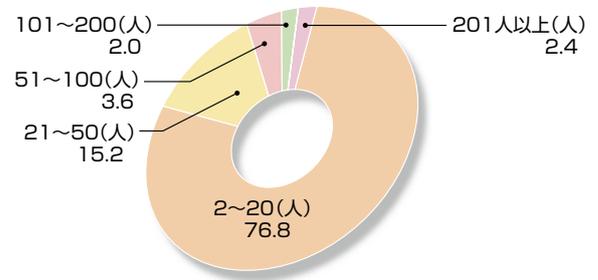
地域別

単位：上段/実数 下段/割合



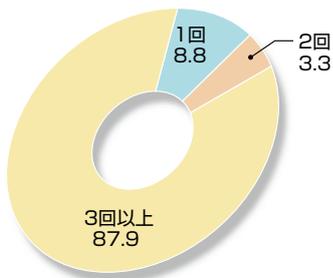
団体規模別

単位：%



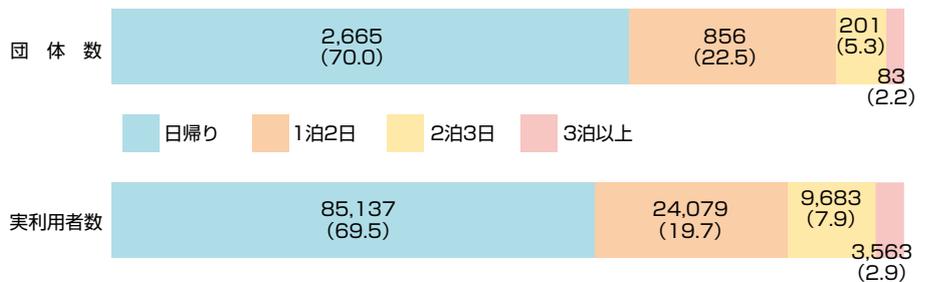
回数別

単位：%



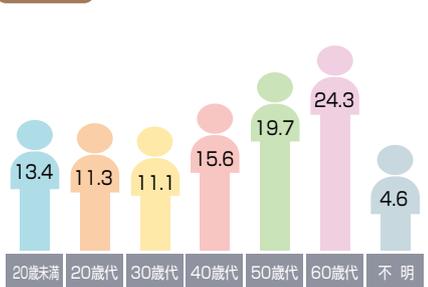
日数別

単位：上段/実数(人) 下段/割合(%)



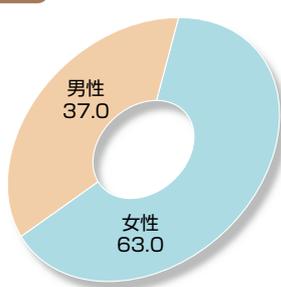
年齢別

単位：%



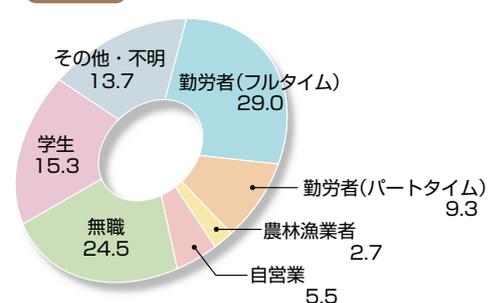
男女別

単位：%



職業別

単位：%



トピックス

平成20年

	時期	項目
	5月	<p>「家庭教育・次世代育成のための指導者養成セミナー」開催</p> <p>5月30日～31日の1泊2日で標記セミナーを実施しました。 現在、家庭教育・次世代育成に関する支援の取組として、本当に必要な人まで支援が行き届くようにしていくことが、大きな課題として挙げられています。 このセミナーでは、調査研究の成果を活用し、「アウトリーチ」の方策についてその理解をさらに深めるとともに、「ワーク・ライフ・バランス～家庭・職場・地域で男性の子育てに参画をすすめるために」「『届ける』支援のための人材育成・活用とそのしくみづくり」を新たな課題として取り上げ、より積極的で細やかな支援の方策を検討しました。 全国から行政担当者、子育てネットワーク・サポーター等のリーダー、企業関係者、女性関連施設職員、保育士等、地域で重要な役割を担う多様な立場の145名が、事例報告をもとにどのような取組が必要なのかを考え、討議し、学び合いました。</p>
	6月	<p>女性アーカイブセンター開設</p> <p>6月12日、女性アーカイブセンターを開設しました。 開設式典では、高見暁子氏（文部科学省生涯学習政策局男女共同参画学習課女性政策調整官）をはじめ、4名の来賓によるテープカットを行いました。 女性アーカイブセンターは、閲覧室、書庫、展示室を備えており、男女共同参画に関する理解の促進を図り、学習・研究支援を行うことを目的として、男女共同参画社会の形成に顕著な業績を残した女性、全国的な女性団体、女性教育や男女共同参画施策等に関する史・資料を収集・整理・保存・提供しています。 主なコレクションとして、戦前・戦中・戦後を通して暮らしに根づいた女性運動を展開した奥むめお（1895～1997）に関する文書、写真、音声、映像記録などから成る「奥むめおコレクション」や、文部省が昭和29（1954）年度から昭和31（1956）年度にかけて実施した稲取実験婦人学級に関する「稲取婦人学級資料」などがあります。 これら所蔵資料の一部を展示し、「暮らし」を見つめることから社会参画を実現してきた女性たちの活動の記録として紹介しています。</p>
	6月	<p>「女性関連施設・団体リーダーのための男女共同参画推進研修」</p> <p>6月11日～13日の2泊3日で、平成20年度「女性関連施設・団体リーダーのための男女共同参画推進研修」を開催（管理職コース・特定非営利活動法人全国女性会館協議会との共催）しました。 本研修は、地域で男女共同参画を推進するため、女性関連施設管理職、団体リーダーとしてのエンパワメントと施設と団体間の連携・協力関係の構築を主な目的としており、会館で実施した女性関連施設や団体・NPO等の現状に関する調査研究の成果に基づいて、調査結果の分析や協議を通して課題を明らかにし、具体的な事例から課題解決のヒントを探ることを重視しました。</p>
	6月～8月	<p>国別研修ナイジェリア開催</p> <p>6月30日から8月1日にかけて開催した「国別研修ナイジェリア」では、JICAが実施している「女性の生活向上のための女性センター活性化支援プロジェクト」の関係者であるナイジェリアの国立女性開発センター職員およびカノ州女性省職員を招へいし、日本の女性センターの位置付けや農村女性のエンパワメント支援方策等についての研修を行いました。</p>
	8月	<p>「女子中高生夏の学校2008～科学・技術者のたまごたちへ～」</p> <p>8月14日（木）～8月16日（土）の2泊3日で、文部科学省委託事業「女子中高生夏の学校2008～科学・技術者のたまごたちへ～」を開校しました。この事業は、女子中高生に科学・技術分野への魅力を伝え、理工系分野への進路を考える機会の提供を目的に文部科学省、男女共同参画学協会連絡会、日本学術会議「科学と社会委員会 科学力増進分科会」との共催により実施されたもので、110名の女子中高生が参加しました。 今年は、参加対象に女子中学3年生を加え、Initiation、Interaction、Internationalをキーワードに科学・技術者と少人数で交流し、プログラム終了後は参加した女子中高生をサイエンスアンバサダーに任命しました。この後、サイエンスアンバサダーは自分の周りに科学・技術の面白さを広める活動を積極的に進めます。</p>

	時期	項目
	8月	<p>「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム」</p> <p>8月29日(金)～8月31日(日)の2泊3日、「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム」を実施しました。主題を「女性のエンパワーメントと男女共同参画社会づくり～新たな取組を必要とする分野への参画をめざして～」とし、「新たな取組を必要とする分野」や解決が急がれる課題から、6つのテーマを設定し、このテーマに沿った56件の募集ワークショップや会館提供プログラムを実施しました。第1日には、板東久美子内閣府男女共同参画局長による基調講演「男女共同参画についての日本の最新動向について」と、前熊本県知事の潮谷義子氏をコーディネーターに迎え、エッセイストの日高邦博氏、城西国際大学大学院客員教授の原ひろ子氏によるリレートーク「未来へのメッセージ～新たな男女共同参画への取組～」を行いました。3日間を通して、会場は全国から集まった約1200名の参加者の熱気に包まれ、研究、教育、学習、実践を結び、女性のエンパワーメントをめざす交流の場となりました。</p>
	10月	<p>「女性のキャリア形成支援推進研修」開催</p> <p>10月8日～10日の2泊3日で、「女性のキャリア形成支援推進研修」を実施しました。全国の団体・グループ・NPO法人等のメンバー、女性関連施設・生涯学習施設等の職員等の女性のキャリア形成支援に携わる方々76名の参加がありました。</p> <p>本研修では、女性が生涯の様々な段階において柔軟にキャリア設計を行うことが可能な地域活動の重要性に着目し、地域活動における個人のキャリア形成とその支援を通じた社会への働きかけに向けて、「キャリア視点から見た地域づくり」を主題とし、男女共同参画や女性のキャリア形成支援に関する国の施策・動向についての解説、リレートーク、討議、情報提供、調査研究報告、ワークショップ、事例研究、活動・事業計画などを行い、職業だけでなく地域活動も含めた女性の多様なキャリア形成支援について学び合いました。</p> <p>終了後のアンケートでは、「キャリアの幅広い捉え方がよく理解できた」「各実践者の報告に刺激された。力を得た気がする」「具体的事例や情報交換を通じて地域にあったキャリア形成支援のヒントを得ることができた」等のご意見が寄せられました。</p>
	10月～12月	<p>女性アーカイブセンター企画展示「女性の高等教育の黎明～チャレンジした女性たち～」開催</p> <p>10月10日から12月23日にかけて、女性アーカイブセンター企画展示「女性の高等教育の黎明～チャレンジした女性たち～」を開催しました。</p> <p>女性のための高等教育機関の創設者、下田歌子(実践女子大学)、津田梅子(津田塾大学)、吉岡彌生(東京女子医科大学)、二階堂トクヨ(日本女子体育大学)、香川綾(女子栄養大学)の5人の女性教育者をとりあげ、各大学の協力を得て、それぞれの創設者の人物像や、女性の高等教育の黎明期の状況を紹介したもので、展示室には会期中8,228名が訪れました。</p> <p>初日には、「何が彼女たちに女性のための大学をつくらせたのか」と題して、北村節子氏(読売新聞社調査研究本部主任研究員)を司会に、飯塚幸子氏(実践女子大学前学長)、高橋裕子氏(津田塾大学学長補佐)によるサロントークを行い、80名の参加がありました。</p>
	10月	<p>女性デジタルアーカイブシステム公開</p> <p>10月15日、女性デジタルアーカイブシステム(http://w-archive.nwec.jp/)を公開しました。</p> <p>このシステムには、女性アーカイブセンター所蔵資料の目録情報と、一部資料の画像が掲載されており、インターネット上で、時間、空間の制約を受けずに女性アーカイブセンター所蔵資料の利用が可能です。高精細画像の公開により、劣化が進み、文字が判読しにくくなった資料も、安全・簡便に閲覧することができます。</p> <p>資料検索も、任意のキーワードを入力して検索するほか、「資料一覧から探す」「分野から探す」など、多様な切り口の検索方法が用意されています。「年表から探す」では、明治元年から近年までの女性史年表に張られたリンクから、その年の出来事に関わりのある資料を参照できます。これは、女性に関する出来事を調べたいときの参照ツールとして使うこともでき、たいへん便利です。また、各種データベース群、女性情報関連ホームページ群などを横断検索できる女性情報CASS(http://winet.nwec.jp/hbs/)から、他のデータベースとの横断検索も可能です。</p>



	時期	項目
	10月～ 1月	<p>「配偶者からの暴力被害者支援セミナー」</p> <p>内閣府男女共同参画局からの委嘱を受け、配偶者からの暴力の防止と被害者の保護のために、相談事業の手続き等を円滑かつ迅速に対応できるようにするとともに、相談業務の質の向上を図ることを目的に、全国の地方公共団体等の相談担当者を対象とした「配偶者からの暴力被害者支援セミナー」を開催しました。経験の浅い相談担当者を対象にした「基礎セミナー」を北海道(10月28日・29日)、愛媛県(10月30日・31日)、富山県(11月13日・14日)の3地域で実施し、地域の実情も踏まえ、相談に必要な知識と技能を学びました。3年以上の経験を有する相談担当者を対象にした「応用セミナー」は、11月19日・20日に当会館で実施し、今日的な課題である、外国籍、若い世代、重複事例を抱える方等の被害当事者の支援について学びました。相談担当者を統括する立場の方を対象にした「管理職セミナー」も、平成21年1月22日・23日に当会館で実施し、管理職にとって必要なマネジメント力の向上を図りました。</p> <p>5つのセミナーを通して、全国各地から400名を超える参加があり、相談業務に役立つ専門的・実践的な研修となりました。</p>
	10月～ 3月	<p>女性情報ポータル“Winet(ウィネット)”のデータベースリニューアル、「新着資料お知らせ(アラート)サービス」開始</p> <p>「女性関連施設データベース」は、全国の女性/男女共同参画センター働く婦人の家・農村婦人の家等の女性関連施設の概要、事業について、毎年の調査結果をデータベース化したものです。各画面のデザインを一新し、「施設概要データ」に「地図を表示」ボタンをつけ google マップから表示させるなど便利な機能を追加しました。</p> <p>男女共同参画及び女性・家庭・家族に関する専門図書館「女性教育情報センター」所蔵資料が検索できる「文献情報データベース」をリニューアルし、検索結果のメール送信等の新しい機能を追加しました。また、「女性教育情報センター」の新着資料をEメールでお知らせするサービスを開始しました。</p>
	11月	<p>「アジア太平洋地域の女性リーダーエンパワーメントセミナー」開催</p> <p>11月6日から11月15日にかけて「平成20年度アジア太平洋地域の女性リーダーエンパワーメントセミナー」を開催しました。アジア太平洋地域9カ国(インド、韓国、カンボジア、タイ、ネパール、パプアニューギニア、バングラデシュ、フィリピン、ラオス)から、国内本部機構、非政府組織、女性団体が活躍している女性リーダー13名が参加しました。今年で3年目となるエンパワーメントセミナーの主題は、「女性に対する暴力の根絶に向けて-多様な連携と協働-」とし、10日間のセミナーの冒頭で研修生が自国における女性に対する暴力とその撲滅に関するケーススタディーを発表しました。セミナー期間中には、学識経験者や専門家による講義に加え、内閣府男女共同参画局や、人身取引の女性被害者のためのシェルター、女性に対する暴力撲滅のためのキャンペーンを展開している民間企業等を訪問し、日本国内の男女平等施策や暴力を受けた女性への支援への取り組みについての理解を深めました。最終日の11月15日には、東京都北区男女共同参画センター「スペースゆう」で成果発表と交流フォーラムを開催し、各国の共通課題である女性に対する暴力の根絶のための問題点と政策提言のプレゼンテーションをおこないました。</p>
	12月	<p>「女性のエンパワーメント国際フォーラム」開催</p> <p>12月20日、21日に「人身取引問題の解決に向けたグローバル・パートナーシップ」をテーマに「女性のエンパワーメント国際フォーラム」を開催しました。初日のシンポジウムでは、国連や国際移住機関(IOM)、タイやフィリピンの政府関係者やNGO、NWEC調査研究メンバー等、国内外のシンポジストが人身取引問題の実態や課題について紹介しました。続く分科会と最終日のフォーラムを通して、今後の開発分野の取組みや女性のエンパワーメントの重要性が確認されました。</p>

平成21年

	時期	項目
	1月～ 2月	<p>「女性の教育推進セミナーⅡ」開催</p> <p>1月12日から2月5日まで「平成20年度女性の教育推進セミナーⅡ」を実施しました。このセミナーは、国立女性教育会館が国際協力機構(JICA)から委託を受け、アジア、アフリカ、中近東等の開発途上国の行政官を対象に、基礎教育の男女格差解消を考慮した教育推進プログラム計画の立案能力向上を目的として、実施しているものです。本年度は、ラオス、ガンビア、ジンバブエ、ニジェール、ネパール、マラウイから計7名の研修生を迎えました。</p> <p>研修期間中に研修生は、日本の教育制度に関する講義、政府開発援助における教育開発プロジェクトの最新の動向や女性の識字に関するワークショップなど多彩なプログラムを受講しました。会館滞在中は、会館が平成20年8月に実施した「女子中高生夏の学校」に関する講義を受講し、日本の教育の現状について学びました。研修生からは「各国の女子・女性教育促進のための具体的な取組を学ぶことができ、帰国後の業務に役立てたい」等の意見が寄せられました。</p>

施設



東京・池袋（東武東上線）より所要時間 60 分、武蔵嵐山駅むさしらんざんより徒歩 15 分、清流の都幾川ときがわに沿う緑豊かな丘陵地で、秩父連山を遠くに望む景勝の地です。

施設は 14 ヘクタールの敷地に自然との調和を配慮し、「陽ひに向かい陽ひに帰るかえ」の考えで、東側に研修棟、西側に宿泊棟、中央に池を配置しています。

所在地	埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷728番地
設計	日建設計
監理	建設省関東地方建設局 営繕部 日建設計
敷地面積	138,556㎡
建築総面積	13,144㎡
延床総面積	28,262㎡



□ 棟別階数・構造及び面積等

名称	構造・階級	延床面積
本館（内女性教育情報センター）	鉄筋コンクリート造 3 階・地下 1 階建	8,509 ㎡ (1,085 ㎡)
宿泊棟	A 棟 鉄骨・鉄筋コンクリート造 8 階・地下 1 階建 B 棟 鉄筋コンクリート造 4 階建 C 棟 鉄筋コンクリート造 3 階建	8,660 ㎡
研修棟	鉄骨・鉄筋コンクリート造 3 階建	7,470 ㎡
体育館	鉄骨・鉄筋コンクリート造平屋建	1,206 ㎡
プール棟	鉄骨・鉄筋コンクリート造平屋建	1,127 ㎡
響（ひびき）書院	木造平屋建	198 ㎡
和（なごみ）庵（茶室）	木造平屋建	18 ㎡
クラブハウス（運動器具庫）	鉄筋コンクリート造平屋建	118 ㎡
車庫等		956 ㎡

□ 本館・宿泊棟

名 称	内 容		施設使用料 (円)
女性教育情報センター	閲覧席30(席)	図書資料・雑誌類・新聞類(開架式)	無 料
	閲覧個室2(室)		無 料
女性アーカイブセンター閲覧室	閲覧席6(席)	非公刊の記録資料(閉架式)、本館3階	無 料
女性アーカイブセンター展示室		本館1階	無 料
展示ホール		本館1階	—
医務室		本館1階	
ボランティアルーム		宿泊棟A棟1階	
音楽室	50(人)	グランドピアノ・ステレオ等	500円～700円
美術・工芸室	30(人)	七宝焼窯・陶芸用窯・ろくろ等	400円～600円
調理室	32(人)	調理台9台	500円～800円
試食室	32(人)	テーブル8台	300円～500円
幼児室		幼児20名まで収容可能	無 料
食堂	300(席)	カフェテリア方式	—
売店		学習用具・日用品等	
駐車場		バス20台 乗用車170台 この他、草原運動場そばにも駐車スペースがあります。	
ミーティングルーム	1(室)	50人用	300円～500円
談話室	7(室)	各20人用	無 料
浴 室	3(室)	大・小・車椅子使用者用各1室	—

□ 宿泊研修施設

種 別	内 容	A棟 (バス・トイレ付)	B棟 (トイレ付)	C棟 (トイレ付)	室数	宿泊者数	施設使用料(円)
和 室	4人用 26室	—	14室	12室	28室	104人	2,000円～2,600円 (1人当たり)
	2人用 2室	2室	—	—		4人	2,200円～2,800円 (1人当たり)
洋 室	2人用 98室	58室	28室	12室	137室	196人	2,000円～2,800円 (1人当たり)
	1人用 39室	39室	—	—		39人	2,400円～3,000円 (1人当たり)
宿泊室合計		99室 (159人)	42室 (112人)	24室 (72人)	165室	343人	



宿泊棟A棟



洋室(2人用)



和室(4人用)

□ 研修棟

種 別	内 容	室 数	内 容	施設使用料 (円)
講 堂	602 人	1	車椅子用移動座席・エレベーター、同時通訳装置、グランドピアノ、音響反射板	4,700 円～ 7,500 円
会議室	大会議室 122 (人)	1	机等の配置：スクール形 外に傍聴席 38、同時通訳装置	1,600 円～ 2,600 円
	中会議室 40 (人)	1	机等の配置：馬蹄形	500 円～ 900 円
	小会議室 12 (人)	1	応接セット (12 人用)	300 円～ 600 円
研修室	150 人室	1	机等の配置：スクール形	1,100 円～ 1,800 円
	99 人室	1	〃	800 円～ 1,200 円
	48 人室	4	〃	400 円～ 700 円
	36 人室	1	〃	400 円～ 600 円
	24 人室	2	〃	300 円～ 400 円
	20 人室	6	机等の配置：トラック形 (長楕円形)	300 円～ 400 円
	マルチメディア研修室	1	パソコン 31 台、プリンター 3 台	800 円～ 1,100 円
控 室	団体控室	4	机等の配置：ロの字形 研修室としても使用できます	200 円
	講師控室	4	ソファセット 研修室としても使用できます	100 円



□ 体育施設・日本家屋等

種 別	内 容	施設使用料 (円)
体育館	31m×25m(775m ²):バレーボール(2面)、バドミントン(3面)、バスケットボール(1面)、フットサル(1面)、卓球台(10台)、その他	3,500円～5,800円
屋内プール	25m 6コース(夏期に開設)	300円(1人1日当たり)
テニスコート	5面(全天候型・砂入人工芝)	900円～1,200円 (1面当たり)
クラブハウス(運動器具庫)	シャワー、トイレ	無料
草原運動場	約12,000m ²	無料
響(ひびき)書院	茶室15畳、4.5畳、座敷10畳	1,200円～1,700円
和(なごみ)庵	茶室	
ウォーキングコース	1kmコース、2kmコース	無料



NWECウォーキングコースのご案内

日本女子体育大学の監修を受け、健康づくりに有効で、安全にも配慮したコースです。会館の周りは自然がいっぱい。緑の中を歩いて、心も体もリフレッシュしませんか。お気軽にご利用いただき、皆さんの心身の健康づくりに是非お役立てください。

■ ご利用時間

・8:00～18:00(冬場は日没まで)・宿泊の方は6:00からご利用になれます。

■ ご利用方法

- ・利用申込みは不要です。
- ・正門ゲート事務所にある来館者票に必要事項をご記入のうえご利用ください。
- ・ペットを連れての入館はご遠慮ください。
- ・コースは1km・2kmの二種類です。
- ・コースにはスタートからの距離や進行方向を設置しています。
- ・準備体操をして、その日の体調に合わせて、無理のないウォーキングをしましょう。



利用案内

□ 利用できる方

女性・男性を問わず、ご利用になれます。

- ・18才未満の方には、保護者・教員等の引率(同伴)が必要です。

※保護者、引率者がいない場合にはご相談ください。

- ・未就学の方の同伴利用については、次の場合とさせていただきます。

①利用プログラム上必要な場合、②幼児室にて団体内の方、または専門の業者等による保育を行う場合

- ・営利目的及び特定の政党、宗教の勧誘・啓発・普及を目的とした利用はできませんのでご了承ください。

□ 利用者の区分

《目的利用者》

以下の①～③のいずれかに該当する方は「目的利用者」となります。

- ①女性・家庭・家族、又は男女共同参画に関する教育、学習、調査研究、情報収集及び交流等を目的とした利用を行う方
- ②国立女性教育会館を利用する学習、研修の一部に女性・家庭・家族、男女共同参画に関するプログラムがある利用を行う方
- ③国の機関及び地方自治体の女性・家庭・家族、男女共同参画に関するプログラムによる利用を行う方

例:女性団体・グループの総会、女性のキャリア形成についての学習会、男女共同参画に関するゼミ合宿、PTAの研修会、子育て・食育・親子の体験活動などに関する学習、女性教育情報センターにおける資料閲覧・収集等

《一般利用者》

上記に該当する方以外は一般利用者となります。

□ 申込受付期間

区 分		受 付 期 間
目的利用者	宿泊利用	利用の12か月前の月の1日から 利用の10日前まで
	日帰り利用	利用の10か月前の月の1日から 利用の10日前まで
一般利用者	宿泊利用	利用の10ヶ月前の月の1日から 利用の10日前まで
	日帰り利用	利用の10日前まで

お問い合わせ(電話・文書または来館)

国立女性教育会館(ヌエック) 予約係
〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728番地
TEL/0493-62-6723(申込み専用)
FAX/0493-62-4399
E-mail/yoyaku@nwec.jp
ホームページ/http://www.nwec.jp/

利用申込書の提出

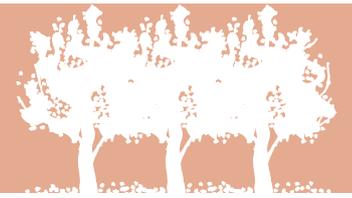
受 付

入 館

女性教育情報センター(p.6)は、予約なしでどなたでも利用いただけます。



国立女性教育会館ボランティア



□ ボランティアの受け入れ

利用者及びボランティア自身の多様な生涯学習を促進するとともに、利用者への質の高いサービスの提供と他機関・団体等との連携協力のための活動として、ボランティアを受け入れています。

□ ボランティアと会館の連携

ボランティアを事業運営における大切なパートナーとして位置づけ、ボランティア活動の推進に向けさまざまな機会を提供しています。



- ①情報提供及び交流:連絡会議(年4回)を実施するとともに、会館内にボランティアルームを設置し、会館とボランティアまたボランティア相互の連絡・交流を図っています。
- ②研 修 活 動:ボランティアと会館が共に学ぶための研修事業として「ボランティア活動研究会」などを適宜実施しています。
- ③自 主 活 動:ボランティア相互の自主的なグループの活動・提案を受け入れ、会館はそれをバックアップしています。
- ④活動状況の広報:「ヌエックNEWS」のボランティアコーナーやホームページ等を活用して、活動内容、活動状況の広報をしています。

運営委員会委員



平成21年8月1日現在

氏名	現職
蟻川 芳子	日本女子大学 学長・理事長
江尻 美穂子	国際婦人年連絡会 世話人
大島 照美子	財団法人新潟県女性財団 理事長
小原 由美子	独立行政法人国立公文書館 公文書専門官
片山 善博	慶応義塾大学 法学部政治学科 教授
上村 直子	特定非営利活動法人J-Win(ジャパン・ウィメンズ・イノベティブ・ネットワーク) 副理事長
黒田 一雄	早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科 教授
佐藤 和子	特定非営利活動法人静岡県男女共同参画センター交流会議 代表理事
佐藤 道明	連合埼玉 副事務局長
柴崎 信三	独立行政法人国民生活センター 理事
島村 和男	埼玉県教育委員会 教育長
高島 秀子	特定非営利活動法人全国女性会館協議会 理事／埼玉県男女共同参画推進センター所長
田中 雅文	日本女子大学 人間社会学部教育学科 教授
中畔 都舎子	全国地域婦人団体連絡協議会 会長
中橋 恵美子	特定非営利活動法人わははネット 理事長
野上 武利	社団法人埼玉県経営者協会 顧問
羽入 佐和子	国立大学法人お茶の水女子大学 学長
宗像 道子	共同通信社 編集委員兼論説委員
矢澤 澄子	東京女子大学 現代教養学部国際社会学科 教授
渡辺 三枝子	立教大学大学院 教授(特任)

外部評価委員会委員



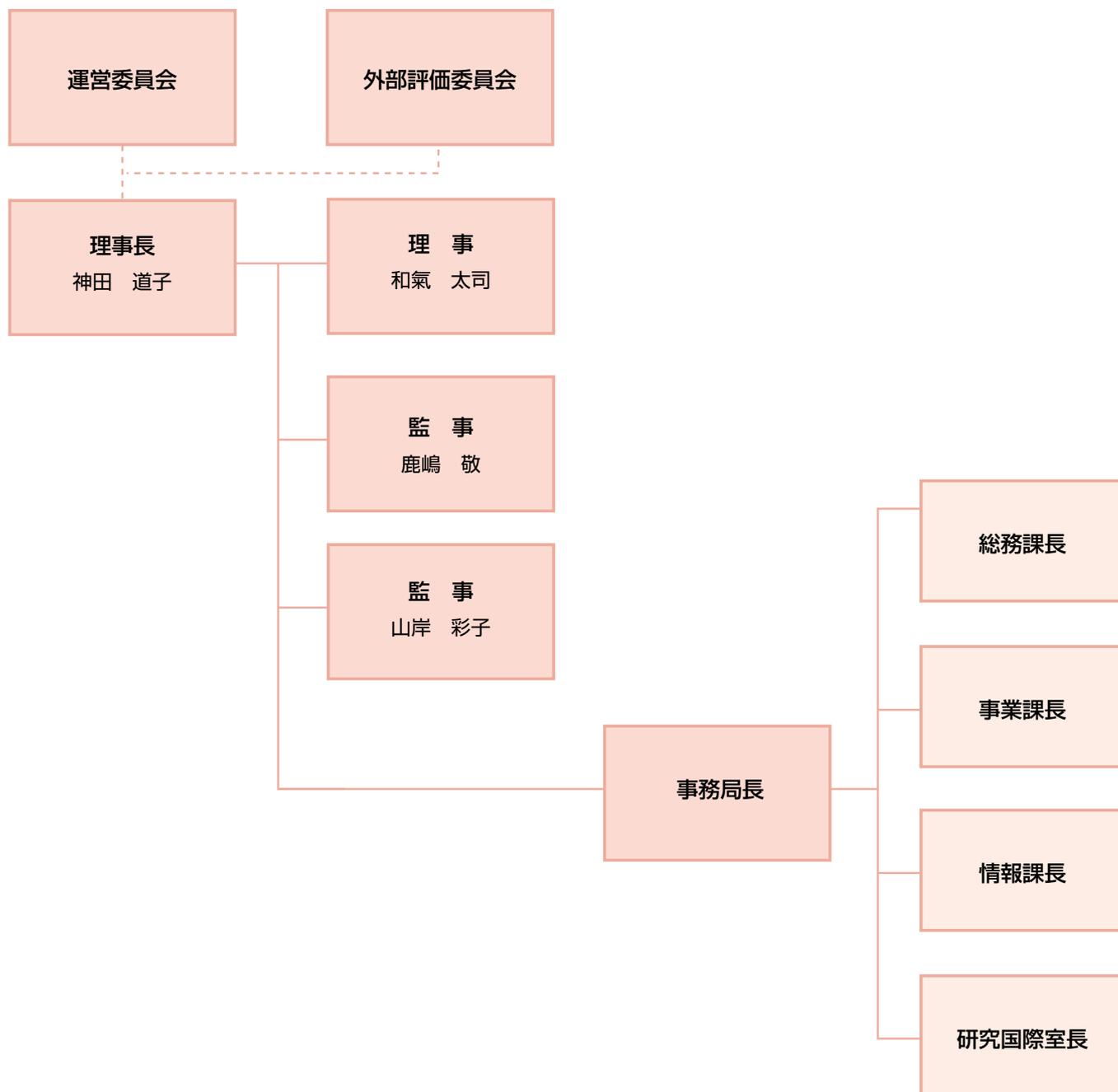
平成21年8月1日現在

氏名	現職
有馬 真喜子	特定非営利活動法人国連女性開発基金日本国内委員会 理事長
笹井 宏益	国立教育政策研究所生涯学習政策研究部 総括研究官
澤野 由紀子	聖心女子大学 文学部 教授
松下 俱子	学校法人恵泉女学園 学園長
三隅 佳子	財団法人アジア女性交流・研究フォーラム 顧問

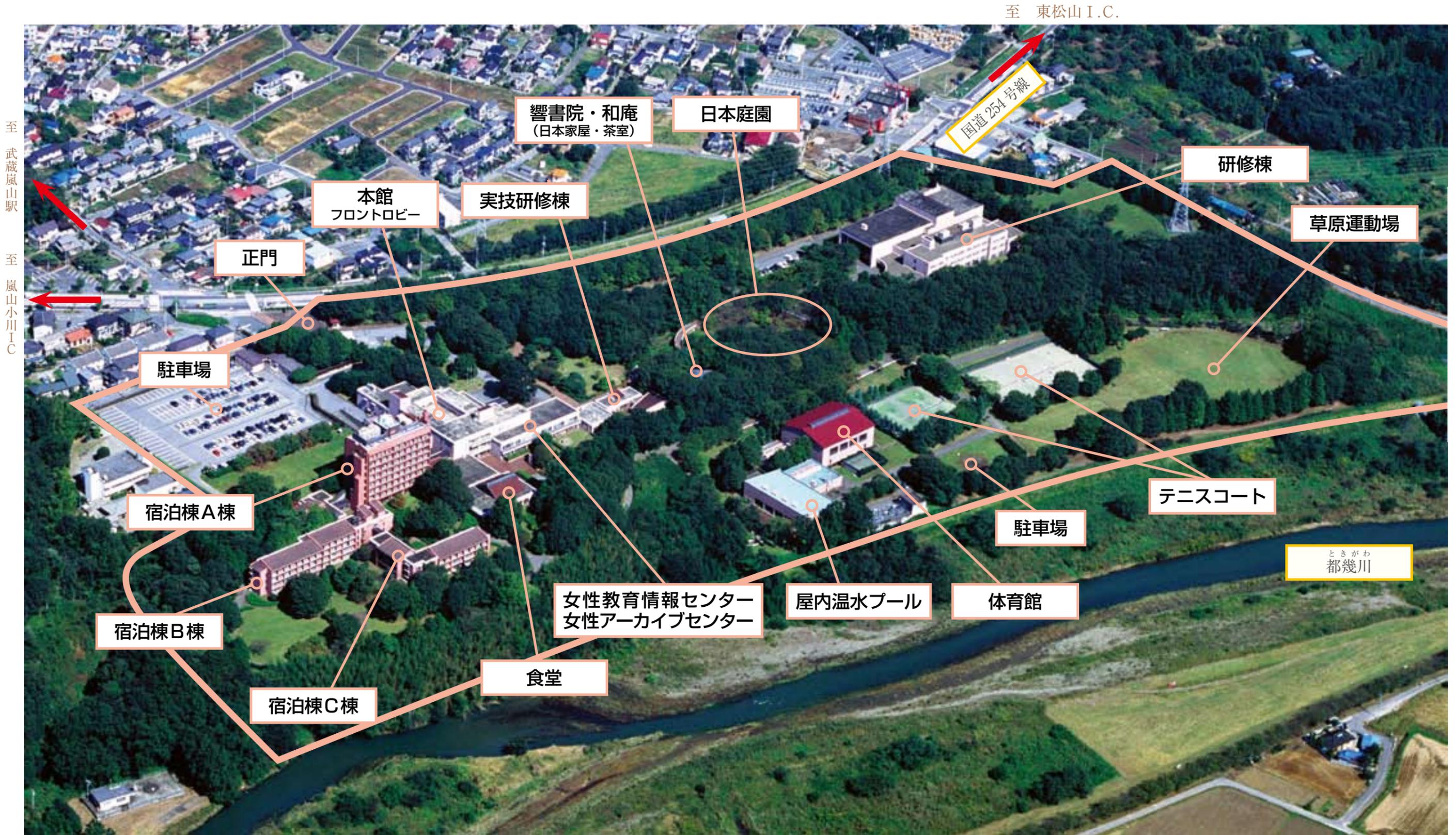
組織図



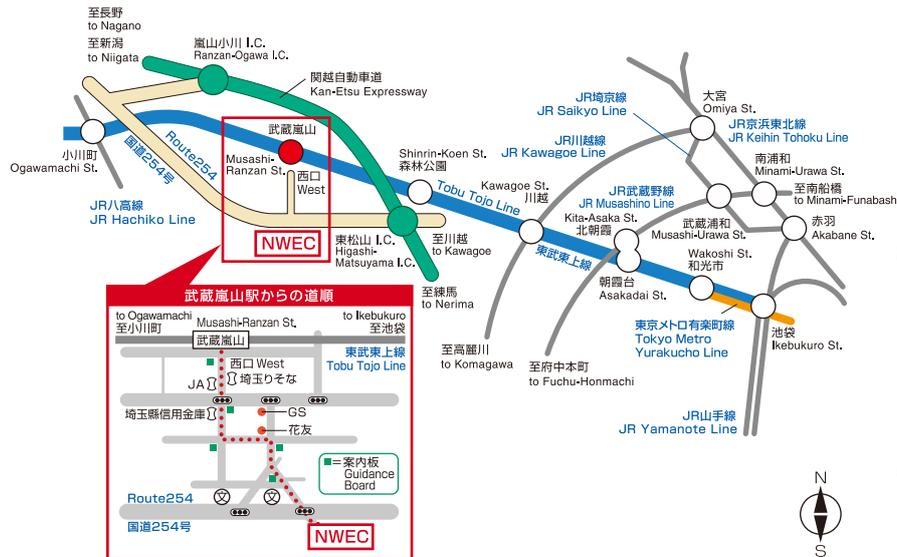
平成21年4月1日現在



施設配置



交通案内 / Access



1. 電車では

東武東上線武蔵嵐山駅から徒歩で15分
武蔵嵐山駅へは

- ①池袋駅から東武東上線急行で60分
- ②小川町駅から東武東上線で7分

※地下鉄有楽町線の和光市駅から東武東上線に乗り換えができます。

※タクシー利用

東武東上線森林公園駅、小川町駅から約15分、武蔵嵐山駅から約5分

2. 自動車では

練馬I.C.から関越自動車道で35分の東松山I.C.から国道254号で15分、新潟方面からは嵐山小川I.C.から国道254号で15分。

※リムジンバス利用

成田空港及び羽田空港から、リムジンバスを利用して森林公園まで来る方法があります。熊谷地区へ向かうリムジンバスを使用。

●休館日：原則として毎月第1・3月曜日及び12月28日から1月4日



独立行政法人 国立女性教育会館
National Women's Education Center

〒355-0292
埼玉県比企郡嵐山町菅谷728番地
TEL 0493-62-6719 (総務課)

総務課 FAX 0493-62-6722
事業課 FAX 0493-62-6720
情報課 FAX 0493-62-6721
研究国際室 FAX 0493-62-9034

ホームページ <http://www.nwec.jp/>
E-mail webmaster@nwec.jp